

「北上トレイル：石巻市北上町における生業を中心とした地域社会のレジリエンス形成」

担当教員名 西城戸 誠／辻 英史

1 コースの概要

日 程	2013年9月9日～12日
場 所	宮城県石巻市北上町
参加人数	14名

2 コースの目的

宮城県石巻市北上町は、東日本大震災による津波の被害を受けた地域である。この北上町にて、地域の生業（農業、漁業）とその復興の状況について学び、地域社会のレジリエンス（回復力）と、震災復興の現状、そのあり方を学ぶことを目的としています。

3 事前学習

事前学習のゲスト講師として、石巻市北上町で地域の生業に関する調査研究を行っている、長崎大学の黒田暁先生の講義を聞き、現地への理解を深めました。

文献講読については、震災前の北上川河口の生業と半栽培について、震災後の東北地方の漁業や、震災後の漁業者の海に対するまなざしについて、仮設住宅の状況と支援について、阪神淡路大震災におけるボランティアに関する論文などを講読しました。

4 行程（内容）

1日目

石巻駅に集合後、駅周辺の石巻復興マルシェ、同市出身の漫画家石ノ森章太郎の作品を展示する石ノ森萬画館を訪問し、日和山に行きました。日和山から石巻市街地の様子を確認し、北上復興応援隊の木村綾子さんから東日本大震災時の話を伺いながら、北上町に向かいました。多数の被害者が発生した大川小学校への



We are one 北上の前で地域の方とバーベキュー



農地の津波被害と復興について伺う



「北上の魅力」についてのプレゼンテーション 十三浜小泊で漁業の説明を受ける



献花、吉浜小学校跡地を見学した後、最大の仮設住宅であるにっこりサンパークに行き、自治会長の方の話を伺いました。

2日目

石巻市北上総合支所を訪問し、役場の方から北上町における被災状況および現在の復興状況について説明を受けました。次に、震災でも落ちなかった大きな岩がある釣石神社を訪問、震災時の話を伺った後、草むしりのボランティアをしました。午後は、十三浜漁業組合長の佐藤清吾さんから漁業の復興について、その後、橋浦地区で農業を行っている大内産業の方から「復勝米」の話を伺いました。田んぼの草刈りも体験しました。夜は、宿泊先の追分温泉のご主人から、北上町の観光に関する現状と課題についてお話を伺いました。

3日目

震災以降、漁業の協業化を行っている「浜十三」を訪問し、ワカメ・昆布漁で用いるロープの清掃作業などの手伝いをしました。昼食は、十三浜でとれた新鮮な海産物をいただき、漁師の方々からお話を伺いました。午後は、最終日の発表会のための準備を行い、夕方は、仮設住宅（にっこりサンパーク）近くの We are one 北上という販売所の前で、フィールドスタディ関係者を集めたバーベキューを行いました。

4日目

最終日は、3つの班に分かれ、「北上町の魅力」についてのプレゼンテーションを行いました。復興応援隊の方、追分温泉のご主人に講評をいただきました。

5 事後学習

事後学習では、各自が作成したレポートを提出し、フィールドスタディの内容を話し合いました。また、一部の学生は法政大学大学院まちづくり都市セミナーにて、パネル報告として、学生が地域社会に関わる実践例の紹介を行いました。